

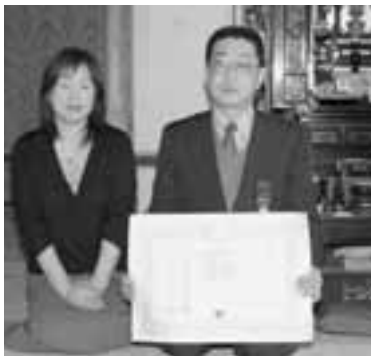


3連覇の偉業を称えて

3月22日町民センターで早中スピードスケート部が全国中学校大会男子総合3連覇、女子総合準優勝した栄誉を称える祝勝会が開催されました。会場では、安平町から町民スポーツ賞、教育委員会から教育委員会スポーツ特別奨励賞を贈呈。北海道教育長から祝文が伝達された後、体育協会から中村卓也コーチに功績賞を、活躍した選手に優秀賞等を贈りました。祝賀会は、選手一人ひとりのインタビューが行なわれ、大会のビデオが流され中村コーチの辛口コメントなどがあり、和やかな雰囲気で行われ、今回の偉業と今後の活躍を祈念し万歳三唱で締めくくりました。

母の遺志をまちの発展のために

「農業振興に使ってください」と昨年鈴木喜美夫さんが町に公益のため一定の私財を寄付。それに対して内閣総理大臣から紺綬褒章が贈られ、その伝達式が3月4日に自宅で行われました。「追分は母が生まれ育った町。お世話になった町のために使ってほしいという遺志を受けて寄付したお金です。仏壇の前で町長さんから立派な褒章を渡され母も喜んでいてと思います」と感謝。



現在農協に勤務している鈴木さんは、「農家の方が長く安定した継続営農ができる支援となれば幸いです」と農政の取り組みについての期待を語っていました。

長く安定した継続営農ができる支援となれば幸いです」と農政の取り組みについての期待を語っていました。



各テーブルをまわりあいさつをする小華和夫妻。(左端が秀則さん、右端がつつ美さん)

3年連続乳量全道一
早来富岡の小華和牧場が、優れた乳牛を審査基準とする生乳生産牛群検定成績で3年連続道内一を達成。平成18年度の全道の乳量平均が8,653kgに対し小華和牧場は15,446kgでした。搾乳量のほか、生産能力の高い牛の繁殖と飼育環境の改善が評価され、「乳牛改良の部」で栄えある宇都宮賞を受賞。その祝賀会が3月17日に行なわれました。

なつかしの曲を披露



レパートリーは500曲を超えるという大野順一さん

高齢の方に楽しい時間を過ごしてほしいと活動している大野順一さん（早来北町在住）が3月21日にケアハウスサックルを訪問しハーモニカを演奏。なつかしい曲に参加者は口ずさんでいました。

4都市対抗大会で優勝した早来ギャロップチーム(写真下)とせいこドーム杯大会(写真右)での1コマ。



早来ギャロップが氷上で大健闘

3月18日に室蘭市で開催された4都市対抗アイスホッケー大会で早来ギャロップが小学生高学年の部で優勝、低学年の部で準優勝。また3月25日に安平町で行なわれた「せいこドーム杯」の大会では決勝戦で惜敗し準優勝でしたが、選手たちの健闘に観客席から拍手が贈られました。

